



学校だより

9月号
横浜市立桜台小学校
令和4年8月29日発行

夏休み明け、桜台小の「めあて」

校長 小宮 健

39日間の長い夏休みが終わり、元気な子どもたちが学び舎に戻ってきました。3年ぶりに行動制限のない夏でしたが、対策を講じながら思い思いに過ごされたことと思います。過酷な暑さが続く中、子どもたちを見守っていただき、ありがとうございました。休み明けの子どもたちの様子をしっかり見て、無理せず、じっくりと学校生活を始動していきたいと思います。

また、子どもたち一人ひとりが目的に向かって、課題意識や具体化された「めあて」をもち、主体的に学習に臨んでいくのと同じように、桜台小としての今後の課題や「めあて」を改めて掲げます。力を合わせて取り組んでまいりますので、ご理解とご支援をいただければ幸いです。

1) 豊かな心の育成の推進校

令和4年度 横浜市教育委員会の指定を受けて、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実に向け、本校の「豊かな心の育成推進プラン」と実生活との関連を重視した取組や道徳教育用教材を効果的に活用した「道徳科」の授業のあり方等の研究を推進します。

併せて、11月21,22日の授業参観や1月25日の区一斉授業研究会にて全クラス公開授業を行い、各校道徳教育推進教師等、保護者、地域等を対象に全市に向けて発信します。

2) 「横浜どこでもスタディ」に取り組みます ～誰一人取り残さない学びの機会を～

コロナ不安やその他、様々な事情で登校できない児童が自宅等で授業に参加できるように、子ども自身が必要に応じて学ぶ方法を選べる取組を進めます。詳細は3ページ目をご覧ください。

3) 学びの充実に向けた大学連携・将来を見据えた教員養成

10月に教育実習の一環として、関東学院大学教育学部1年生が5日間の職場体験（教育活動の視察、児童支援、授業準備や環境整備などの教職員の業務補助等）を本校全クラスにて次の日程で行います。10月3日(月)～7日(金)…12名 10月17日(月)～21日(金)…12名

また、令和5年4月から横浜市立桜丘高等学校に「教員養成講座」が開設され、近隣の小中学校での教育体験も始まります。教員不足の深刻化が社会問題として取り上げられていますが、教育に関心のある人材が教職の魅力を感じて、未来の教育の活性化や発展に結びつくような取組が求められています。学校現場としても、現在のAT（アシスタント・ティーチャー）等の活用と同様に、日常の教育活動への相乗効果を期待しつつ、一層の連携を図ってまいります。

4) 学校運営協議会・地域学校協働本部の設置

保護者、地域住民等と学校が情報を共有しながら連携強化を進めることで、「横浜教育ビジョン2030」で示す「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成を目指す学校運営の実現や、未来の「ふるさと桜台」を担う児童の健全な育成に取り組むことを目的とする「桜台小学校 学校運営協議会」を令和4年10月1日付で発足します。

並行して、学校・地域コーディネーターを中心とした地域学校協働本部の設置に向けても準備を進めております。随時、協議内容等の情報を発信してまいります。